

審判の進め方（台本） SCU 方式

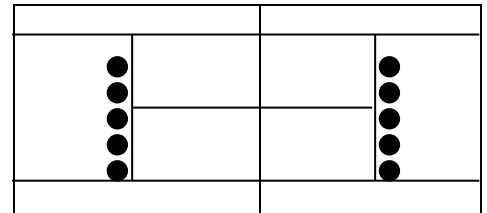
とにかくコールは大きな声で！

団体戦 司会

（進行は第1試合のSCU）

- コート準備 ネットの高さをシングルススティック（91.4cm）等で確認する。
シングルス試合は、シングルススティックをシングルスライン外側から測り立てる。
各コートのスコアボードに校名シートをはる。（番号の小さい学校を上に掲示する。）
審判台下のネット際で選手を待つ。他の試合の審判も横に並ぶ。

- 整列 両校の選手・監督をサービスラインに並ばせる。※右図を参照



○ ○ ○

第1試合の審判を中心して整列



審判



「サービスラインに整列してください。」

- 挨拶・選手紹介

「両校は前に進んでください。」

「ただ今より○番○○高校と ○番○○高校の試合を始めます。両校礼！」

「オーダーの交換をお願いします。」

「(番号の小さい) ○番○○高校の監督の先生よりメンバーの紹介をお願いします。」

「○番コートでダブルス1、○番コートにシングルス1、・・・の試合を行います。」

「番号の小さい学校の選手は、審判台左側のベンチを使い 試合を行ってください。」

「番号の大きい学校の選手は、審判台右側のベンチを使い 試合を行ってください。」

「それでは、選手はコートに入り試合の準備をしてください。解散してください。」

団体戦 終了

初戦はすべての試合を行なう。その他は勝敗が決定した時点でゲーム途中でも打ち切る。

コート外にいるその団体戦の審判員（例えばS1）は団体戦の勝敗・スコアを最終試合の審判に連絡・確認する。本部に報告。

最終試合の審判と副審は両校をサービスラインに整列させる。

「両校選手は前に進んでください。○○高校と○○高校の試合は、○対○で○○高校が勝ちました。両校礼！」

スコアボードの校名をはずし、審判用具一式とともに本部へ返す。

試合前（プレマッチミーティング）・試合中（アナウンス）

- プレマッチミーティング 両選手の顔を見て以下の内容をしっかり伝えること。

「審判はSCU方式で行います。「アウト」「フォールト」のコールは対戦相手と私に分かるように…
大きな声とハンドシグナルで行ってください」

「隣のコートからボール等の妨害があった場合は、私が「レット」をコールします…

選手の皆さんは、「レット」をかけることができません。失点につながりますので気をつけて下さい。」

「サービスの「ネット」のコールは私がします」

「あきらかなミスジャッジは私がオーバールールします」

「トスを行います。コインの表（花）か、裏（100の方）かを選択してください。」※100円コインは審判が用意すること

トスに勝った選手が「サーバーかレシーバー」を選択した場合は、負けた方はエンド（コート）を選択できる。※逆の選択もあります。

- 練習開始（ボールを選手に渡す）。練習はすぐに試合のできる服装で練習をするように指示する。

「練習時間は3分間です。サービス練習4本から始めてください。」※ボールを打った瞬間から時間を計る。

練習時間を利用してサーバーの名前、高校名を確認し、審判用紙の「Server Side」に頭文字を記入する。

ダブルスの場合、レシーブする位置を確認し、「Doubles receivers」にも4人の頭文字を記入しておく。

1分後「2 minutes」（残り2分）とアナウンスする。

2分後「1 minutes」（残り1分）とアナウンスし、続けて選手の紹介をする。

「ただ今より、○○高校 対 ○○高校、シングルス（ダブルス）、1（2 or 3）の試合を行います。

審判台 右側 ○○高校 ○○選手。審判台 左側 ○○高校 ○○選手。先ほどのトスの結果 ○○選手が
サーバーとなりました。」 3分後大きな声で「Time！」 ※練習を止めさせる

5. 試合開始

「One Set Match, ○○（選手名 or 高校名）to Serve. Play！」

「Game ○○（選手名 or 高校名）、First Game.」団体戦では第1ゲーム終了後セットブレイク方式でも休憩できる。

第2ゲームの直前に「○○ to serve」とサーバーの高校を紹介する。その後は言わない。

「Game ○○（選手名 or 高校名）、○○（選手名 or 高校名） leads 3-2（Three-Two）」

ポイント間は20秒。エンドチェンジは90秒。60秒たったら「Time」とアナウンスする。スコアボードは選手がカウントします。

6. ゲーム終了

「Game, set and match ○○（選手名 or 高校名）、Score is ○-○」勝者サインをもらいスコアシートを本部へ（1試合毎）

困った時

主審はその場を離れずに コートレフェリー（CR）を呼ぶこと。